

奴隸制南部と保護主義

南北戦争前期アメリカ経済史研究

2022年6月2日(木)

平出尚道

序章 南北戦争前のアメリカ経済とアメリカ体制

研究対象 19世紀前半のアメリカ保護主義体制いわゆる「アメリカ体制」

- 保護関税を支柱とし、交通改善、中央銀行制度、公有地売却益の州への配分等を連関させた政策体系
- 「アメリカ体制」の父と呼ばれる政治家ヘンリー・クレイによって提唱
 - 19世紀前半西洋経済史研究における後発（後進）国工業化の議論において、先発工業国イギリスの側圧下において工業化を図るための代表的な経済政策・政策思想とされる

先行研究①②

- ①比較経済史学派（鈴木圭介氏, 宮野啓二氏等）
 - 二地域間分業論（「北部」内分業論）
 - 「東部」工業と「西部」農業
 - 「国民経済」の構築

- ②帝国学派（清水知久氏, 高橋章氏等）
 - 三地域間分業論とラテンアメリカ市場への進出
 - 「東部」工業と「西部」・「南部」（国内植民地）農業
 - 「東部」工業製品のラテンアメリカ市場への進出
 - 西半球の帝国的支配構想

先行研究③

③楠井説（楠井敏朗氏）

三地域間分業論

「東部」工業と「西部」・「南部」農業

「国民経済」の構築

先行研究における共通の前提

- 第一 クレイの地元で支持基盤であったケンタッキー州は「西部」穀物生産地域であり、彼は「小農の代表」であった。
- 第二 クレイが「アメリカ体制」論を構築するにあたって、その護るべき工業であったのは、ニュー・イングランドなどの「東部」工業であった。
- 第三 クレイの「アメリカ体制」論とは、地域的特化に基づく地域間分業を意図していた。
- 第四 クレイはハミルトニアンで厳格な集権主義者であり、「アメリカ体制」論も集権主義を原則として構築された。

第Ⅰ部 アメリカ体制の一基盤

ケンタッキー州の政治経済構造

第1章 地域類型「南部」としてのケンタッキー州ブルーグラス地方

クレイの地元で支持基盤であったケンタッキー州ブルーグラス地方

- 奴隷制に基づく農業生産（大麻生産）

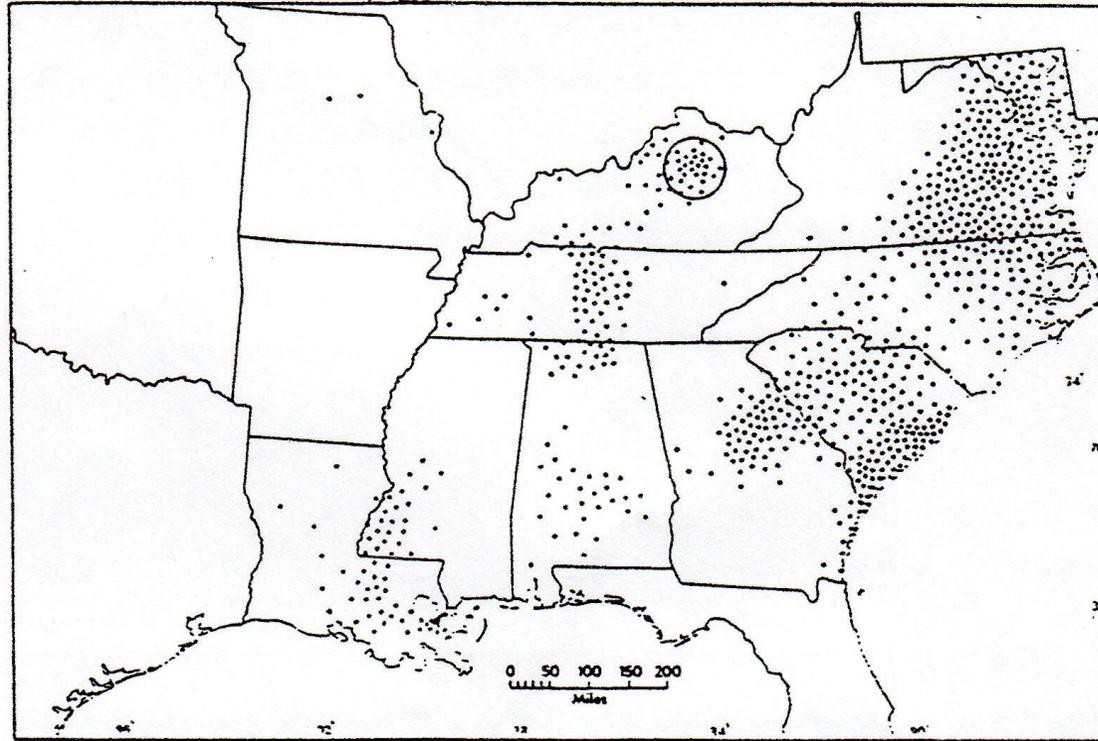
クレイ自身もプランター

大麻製品 棉花梱包用梱・ロープ

スコットランド製に比べ品質面・価格面で劣る

保護関税不可欠

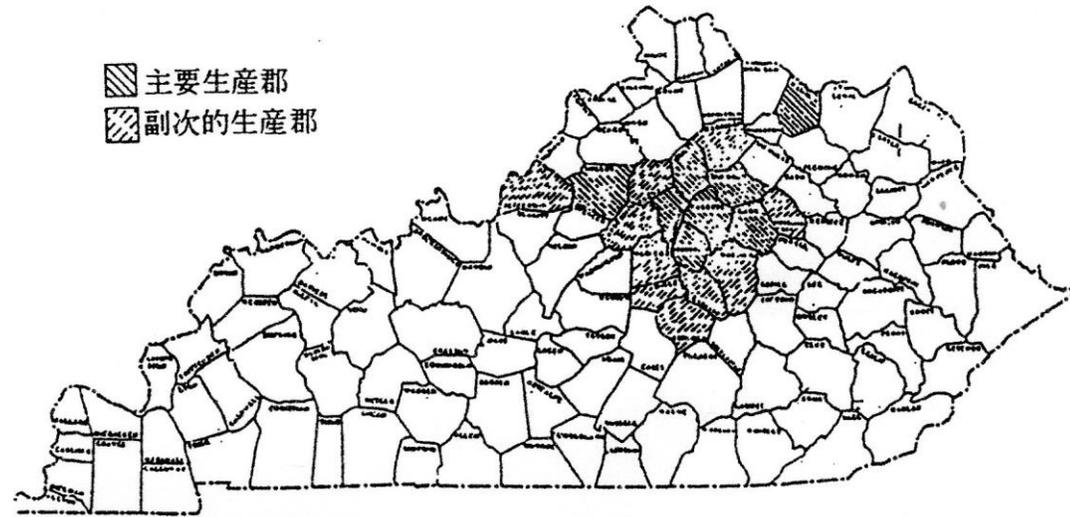
図1 奴隷数の分布 (1830年)



備考) 各点は奴隷2,000人を示す。

出所) S. B. Hilliard, *Atlas of Antebellum Southern Agriculture*, Baton Rouge, 1984, p. 30.

図2 19世紀ケンタッキー州の大麻生産地域



出所) J. F. Hopkins, *A History of Hemp Industry in Kentucky*,
Lexington, Ky., 1951.

- レキシントン（ブルーグラス地方の中心都市）の工業発展

1810年代 西部（南西部含む）最大の工業都市

大麻工業以外にも綿工業、毛織物工業等の多様な工業発展

（奴隷労働・賃金労働）

製品 西部に広範囲に販売 イギリス製品の脅威→保護主義運動

クレイ自身会社創設に関わるなど同地工業に深く関与→保護主義運動

岳父は同市一の商人・工業家

1810年代末～ オハイオ河・ミシシッピー河ルートにおける蒸気船増加
→大麻工業以外の衰退

第II章 ブルーグラス工業と第二合衆国銀行

クレイの「アメリカ体制」論 中央銀行制度

第二合衆国銀行（1816～1836）への支持

先行研究 資金循環機構の整備により地域間分業を促進するため

第二合衆国銀行創設時、資本不足に悩むレキシントン工業家層の存在を背景とした同行レキシントン支店設置運動（東部資本を西部に）を支援

1833年連邦議会上院演説

「合衆国銀行はその支店を通じて連邦における最も必要とされる地域への資本の供給を可能にしてきました。……」

合衆国銀行 東西地域間の不均衡是正 ≠ 地域間分業促進

第III章 ブルーグラス工業とラテン・アメリカ通商構想

クレイ 連邦議会下院 1817～1820年

ラテン・アメリカ諸国に対する支援と同諸国における合衆国の指導的地位を訴える

1820年5月10日演説 「アメリカ体制」という言葉が初めて使われる



帝国学派の「アメリカ体制」理解

三地域間分業論 「東部」工業と「西部」・「南部」（国内植民地）農業

「東部」工業製品のラテンアメリカ市場への進出

西半球の帝國的支配構想

しかし、クレイの1818年3月24・25日ラテン・アメリカ問題演説

「この地域にはすべての余剰生産物の捌け口がニュー・オーリンズしか存在しないので、もしヨーロッパの強国からのメキシコの独立が果たされるならば、この販路の持つ有利性を享受しうる大きな保証が得られることはきわめて明らかです……」

クレイの対ラテン・アメリカ通商構想における合衆国側の港とは、東部の諸港ではなく、西部生産物の唯一の捌け口であるニュー・オーリンズ

レキシントンにおけるラテン・アメリカ市場への関心

クレイ支持者の要求

西部人自身の道路、運河、工業そしてその製品市場

1820年6月7日 レキシントンでの晩餐会挨拶

彼の関心を引き付ける三つの問題

交通改善、西部の製造工業、南アメリカ（ラテンアメリカ）

ラテン・アメリカ通商構想は「東部」工業のためのものではなかった

第IV章 ヘンリー・クレイの植民運動

植民運動 自由黒人をアフリカ等に植民させる運動

クレイ 1836～1849年 アメリカ植民協会会長

公有地売却益の州への配分(配分政策) を植民費用とする形で
「アメリカ体制」とリンク

先行研究においては、配分政策（州が政策上の主体）を軽視

○ アメリカ植民協会と南部

アメリカ植民協会 自由州と奴隷州（高南部諸州）を両翼

デラウェア、メリーランド、ヴァージニア 自由黒人問題
ケンタッキー（大麻生産） 過剰奴隷問題（スレイブ・プア）

○ ケンタッキー植民運動

奴隷解放運動を包摂 自由黒人数を減少させ自主的解放を促進させる
（真空戦略）

自主的・漸進的・（自由黒人との）非共存に基づく奴隷解放運動

○ クレイの奴隷解放論（奴隷制の存廃は州権限）

～1849年

自主的・漸進的・非共存解放路線

1849年 奴隷移入の解禁（33年法の廃止）⇒奴隷取引の拡大

1849年～

立法的・漸進的・非共存解放路線

解放案⇒1855年あるいは1860年以降に生まれたすべての奴隷は25歳で解放され、州外へ植民

○ 1849年憲法改正会議代議員選挙 奴隷解放問題が焦点

奴隷解放派（クレイ指導） 奴隷移入禁止と州議会への解放権限付与規定要求

ホイッグ党奴隷解放派 VS ホイッグ党反奴隷解放派・民主党

奴隷解放派の惨敗 当選者なし



レキシントン 全米で最大の奴隷市場の一つになっていく
「アメリカ体制」としての「ブルーグラス体制」の敗北

第V章 カシアス・M・クレイの奴隷解放論

1810年～1903年 ケンタッキー出身 ホイッグ党员 「アメリカ体制」支持者
「南部」における著名な奴隷解放論者 共和党結成に尽力

○ 奴隷制の弊害

- ・ 教育水準の低位（公共の学校制度の未普及等） ⇒ 機械技術の低位 = 工業生産力の低位
- ・ 非奴隷所有白人層の貧困化（奴隷制による無償労働の存在）
- ・ 人口増加の低迷（自由州と奴隷州の対比）
- ・ 農工業の停滞（非奴隷所有白人層の貧困化や人口増加の低迷による市場の狭隘性）

○ 奴隷解放案

立法的（州権限） ・ 漸進的 ・ 非共存解放路線

・ 立法的解放路線 州権限

・ 漸進的解放路線 ある一定の年・月以降に生まれたすべての女性奴隷
の21歳での解放



低南部への奴隷所有者の移住、あるいは低南部への
奴隷売却（売却資金の工業への投下も期待）

低南部奴隷制に依存した解放

・ 非共存解放路線 強制的植民は経済的にも事務的にも困難
州内の奴隷解放が決まれば黒人数は容易に減少

○ カシアス・M・クレイと「アメリカ体制」

C・クレイの奴隷解放案はケンタッキー州の再工業化を目指したもの
(気候・土壌・資源において優れた同州こそ、農業のみならず工業も発展
すべき)

⇒ H・クレイの「アメリカ体制」と一致

1849年憲法改正会議代議員選挙 H・クレイと協力

第II部 自由貿易と保護主義の狭間で 奴隸制南部の経済構造

第VI章 プランテーション商品作物生産間の利害対立 －1824年関税法案をめぐって

連邦議会下院における1824年関税法案大麻製梱関税審議の分析
奴隷制生産に基づく商品作物（大麻、砂糖黍、棉花）に関連する議論
 大麻製梱　－棉花の包装
 砂糖　　　－ルイジアナ州（主要棉花生産州）で生産

ケンタッキー州大麻・大麻製梱生産者　保護関税主張
棉花プランター層　大麻製梱の関税撤廃・引下げ主張
砂糖プランター層　砂糖関税のみ主張　原則として自由貿易支持

奴隷制生産に基づく大麻・砂糖 ≠ 国際商品

○ 大麻製梱関税をめぐる議論

- ・ ケンタッキー製品の品質・生産能力・価格への批判
 - ← 関税による保護 スコットランド製品による独占の排除
 - 競争が起こり、品質向上・生産量増大・価格低下
 - クレイ 奴隷労働力の使用故に生産の拡大は容易
- ・ 棉花生産者の負担
 - ← 大麻製梱購買費は棉花価格に転嫁
- ・ 高度な機械を必要としない製品の保護妥当性
 - ← 傘、革製品、帽子等で見られたように、保護関税は有効なもの
- ・ イギリスによる報復の惹起 棉花輸入先の変更（南米・西インド）
 - ← これまでの粗綿布関税に対してイギリスの報復はない

○ 砂糖関税をめぐる議論

砂糖関税・棉花関税は「南部」関税法案反対者に対する批判の口実に

- ・ ウィリアム・ブレント（ルイジアナ州） 財政関税と主張
- ・ ジェイムズ・ハミルトン・Jr.（サウス・カロライナ州）
- トーマス・コップ（ジョージア州）

大麻製榷関税の放棄を条件に砂糖関税・棉花関税廃止を提案

大麻製榷関税反対「南部」勢力内部における相違の表面化

○大麻製榷関税と「アメリカ体制」演説

クレイ 1824年3月30, 31日連邦議会下院演説

「アメリカ体制」の代表的演説

先行研究 「東部」工業の保護と地域間分業提唱

保護すべき具体的な工業部門 大麻工業

1824年2月13日～16日の大麻製榷関税審議における発言と同様な内容

3月「アメリカ体制」演説 2月の大麻製榷関税審議の延長線上に存在

第VII章 ルイジアナ州でのアメリカ体制受容

－砂糖生産の拡大と保護主義への旋回

1820年代後半 寒さに強い「リボン種」の普及・棉花価格の低迷

→砂糖がルイジアナ州における最も主要なプランテーション商品に
生産価値額(29年) 砂糖・糖蜜606万9585ドル、綿花204万4620ドル



砂糖生産利害と結びついた政治勢力の成長

クレイを盟主とする「アメリカ体制」派に合流

「南部」におけるナショナル・リパブリカン党／ホイッグ党の拠点に
州知事 1828年～1843年 下院議員 表1

表1 ナショナル・リパブリカン党（系）／ホイッグ党の
ルイジアナ州選出連邦議会下院議員

	1	2	3
1828	ホワイト	ガーリー	D
1830	ホワイト	トーマス	ブラード
1832	ホワイト	D	ブラード
1834	ジョンソン	D	ガーランド
1836	ジョンソン	D	ガーランド
1838	ホワイト	チン	ガーランド
1840	ホワイト	D	ムーア

出所) M.J.Dubin, *United Congressional Elections, 1788-1997*,
Jefferson, NC., 1998, pp.91,97,103,109,115,121,128
より作成。

備考) 4桁数字は選挙年、1～3は選挙区、Dは民主党を示す。

- ・ エドワード・D・ホワイト
5回 連邦下院議員当選 1期 州知事 同州クレイ派の代表的人物
保護関税、（州内信用のための）合衆国銀行、（州内）交通改善主張
- ・ トーマス・W・チン
1期 連邦下院議員
州権主義者・連邦憲法厳格解釈主義者であることを標榜
保護関税、合衆国銀行は合憲
- ・ アンドレ・B・ロマン
2期州知事 同州クレイ派の代表的人物
保護関税、（州内信用のための）合衆国銀行、（州内）交通改善
教育拡充主張

第VIII章 ホイッグ党プランター層の保護主義論

先行研究 「アメリカ体制」は「北部」政党であるホイッグ党の政策体系
しかし、クレイの党内基盤は「南部」組織（以下南部ホイッグ党）
棉花プランター層も含めたプランター層が支持者

1844年大統領選における党綱領 候補者クレイの政策体系を承認したもの
トーマス・ブラウン 保護関税に賛成した南部ホイッグ党支持者を二分類

- ・「北部」と「南部」の地域間分業の支持者
- ・「南部」工業化を視野に入れていた者達

クレイ陣営の保護主義論において「南部」はどのような位置にあったのか

『ヘンリー・クレイ氏がアメリカ合衆国大統領に選出されるべき50の理由』
1844年 ホイッグ党選挙運動用小冊子

- ・ 関税政策

これまでの関税によって多種多様な産業が成長

関税の恩恵によって南部も北部と同様な展開を示すようになる

- ・ 配分政策

交通改善 + 「社会改革」 (貧困白人の教育、自由・解放黒人の植民)

地域間分業のためではない

「南部」の工業化を視野に入れた主張

1840年代前半 棉花価格の急落 「南部」工業化論の浸透

第IX章 中央「州権」主義としての「アメリカ体制」

－ホイッグ党の経済政策思想

○ホイッグ党内におけるクレイの支持基盤

1836年大統領選 党内「地域」地盤を確保できず出馬辞退

1837年~1838年 カルフーン派の脱退（連邦憲法厳格解釈派）

1840年大統領選 「南部」地盤

1841年 ヴァージニア・アソシエイツ(連邦憲法厳格解釈派)

第三合衆国銀行設立問題で弱体化

1844年大統領選 「南部」と「北部」の支持 党候補に選出

第三合衆国銀行設立 州権派「南部」ホイッグ党議員の多く支持
∴ 「北部」資本への依存を減らす

州権派「南部」ホイッグ党 連邦憲法厳格解釈派
州利益のための柔軟解釈派 クレイの基盤

1840年 カルフーン派の脱退により「南部」内部の調整に成功して
「南部」候補に

1844年 ヴァージニア・アソシエイツの弱体化により「南部」内部の
調整に成功して「南部」候補に
(ウェブスター派の弱体化により「北部」内部の調整に成功
して「北部」候補に)

『なぜヘンリー・クレイはアメリカ合衆国大統領になるべきではないのか
その50の理由』

1844年 民主党選挙運動用小冊子

特徴 クレイをフェデラリストとして多く批判

- 「1. 彼は、ジョン・クインジー・アダムズとの提携によって国務長官職を手にいれた」
- 「2. 彼は、この提携の後、以前は唱道していたリパブリカンの原則をすべて捨てた。そしてその時以来、古めかしいフェデラリズムの擁護者となった」

等々

しかし、「アメリカ体制」が提唱されたのはこの提携の以前、すなわち、「リパブリカンの原則」から構想されたと民主党認識

「アメリカ体制」≠フェデラリスト党「ハミルトン体制」(集権主義)

第IV部 イギリス自由貿易論と アメリカ保護主義論

第X章 スコットランド・ハイランドの麻工業

19世紀中葉までのスコットランド・ハイランドのインヴァネス麻工業の
実態解明 牧畜・水産業が主なハイランド産業史研究の一環

アメリカ連邦議会下院大麻製梱関税審議において、ローランドのダンディ
大麻工業とともに、スコットランド大麻工業を代表するものとされる

インヴァネス 船舶航行に良好な川に沿い、海からも近い地理的利便性

ハイランド域内市場のみでなく、域外市場(イングランド、アメリカ等)
向けの麻工業の発展

・ 亜麻工業

原料麻 海外に依存

主に亜麻糸生産 紡績工程 問屋制に基づく家内生産

ローランド大規模工場生産との競争、19世紀中葉までに衰退

・ 大麻工業

原料麻 海外に依存

棉花・石炭梱包用の梱・袋や船舶用品などの最終製品生産

国内外に需要

工場制の進展 1860年代にも存在感を示す

(ローランド・ダンディ ジュート工業に重心移す)

第XI章 イギリス議会のアメリカ保護主義論とアメリカでの対応

1828年関税 南北戦争前期における最も強力な保護関税

← イギリス議会における議論 ← アメリカでの対応

○ イギリス議会下院における議論（1828年7月18日）

主要論者 ウィリアム・ハスキントン（トーリ党）

ジョーゼフ・ヒューム（トーリ党）

ロバート・ピール（トーリ党）

- ・ハスキッソン アメリカへの打撃大きく イギリスへの影響小さい
アメリカからの輸入品（棉花、煙草、藍等）インド代替
アメリカ市場 ラテン・アメリカ、アジアが容易に代替
報復措置示唆 （互惠主義的自由貿易を主張）
- ・ヒューム アメリカに代わってアジアなどがすぐ取引先に
報復措置否定的
- ・ピール アメリカは遠からず自らの間違いを認識
代替市場の獲得は容易ではない
報復措置否定的

○ 『保護貿易制度に関するイギリス人の見解』（ボストン、1830年）

イギリスにおけるアメリカ保護主義批判に反論した匿名の論説

・ イギリス議会下院における議論の説明

同じようにアメリカ保護主義を批判 アメリカの利益を損なうことを強調

↓

それぞれの論者の自由貿易論における違いの捨象、議論の単純化

主張の相違を示す利点はないと判断

第XII章 アメリカ保護主義運動における西部農民層の位置 ーイギリス穀物法をめぐって

先行研究 1820年代アメリカ保護主義運動における「西部」穀物生産農民層の主体的役割強調

イギリス穀物法の存在が、「西部」農民層を東西（南）地域間分業に基づく国内市場創出論（アメリカ体制）の支持基盤に

アメリカ保護主義とイギリス穀物法の関係の再考察

→イギリス自由貿易陣営のアメリカ保護主義批判とそれに対する
アメリカ保護主義陣営の反論の分析

○ 「アメリカの関税」 『エディンバラ・レビュー』、1828年

アメリカ1828年関税を批判した匿名の論説

- ・ 保護主義批判 保護主義は時代遅れで経済学を無視したもの
- ・ アメリカの状況 もともと重商主義の足枷がない
肥沃で広大な土地の存在 農業生産への専念が有益
1828年関税 プランター・農民・海運業者の収入奪う
- ・ イギリスの状況 穀物法の存在という弱点の存在
全体としては自由な制度へ大きく進展
アメリカより開放的

○ 『保護貿易制度に関するイギリス人の見解』の反論

i 穀物法の存在 イギリス自体の法律によって分業を不可能にしている

ii 英米間の物理的な距離 生活に必要なものを依存しあうことは不可能

iii 安全保障 長期にわたる通商遮断の可能性

i はイギリス自由貿易論者を擁護、ii, iii はアメリカ保護主義を擁護

矛盾の存在

↑
「西部」穀物生産農民層説得の必要性

イギリスは自国で栽培できるものは輸入しない農工業並立国家
穀物法は撤廃されることはない
従って、保護関税も問題ない

「西部」穀物生産農民層の自由貿易志向を示すもの

終章 奴隸制南部とアメリカ体制

終章 奴隷制南部とアメリカ体制

先行研究における4つの前提

第1 クレイの地元で支持基盤であったケンタッキー州は「西部」穀物生産地域であり、彼は「小農の代表」



クレイの地元で支持基盤であったケンタッキー州ブルーグラス地方は「南部」奴隷制地域であり、彼自身もプランター
また、1820年代「西部」小農（穀物生産）地域は保護主義運動において主体的役割を果たさず

第2 クレイが「アメリカ体制」論を構築するにあたって、その護るべき工業であったのは、ニュー・イングランドなどの「東部」工業



護るべき工業は、主に「南部」あるいは西部（含南西部）工業

第3 クレイの「アメリカ体制」論とは、地域間分業に基づく地域間分業を意図



地域間の不均衡是正・域内農工業発展の促進を目指す

第4 クレイはハミルトニアンで厳格な集権主義者

「アメリカ体制」論も集権主義を原則として構築



クレイは連邦憲法の拡大解釈を容認する州権主義者

「アメリカ体制」論も「リパブリカンの原則」（州権主義）から構想

クレイの「アメリカ体制」とは「一国の幸福とはそれを形成する各地方の幸福のことであり、各地方を護ることはその国を護ること」（1824年関税法案審議）を根幹的視座 国民経済論とは異なる保護主義思想

史料・文献一覧←

←

I 史料←

←

Clay, C. M., *The Life of Cassius Marcellus Clay : Memoirs, Writings, and Speeches*, ←
Vol. I , Cincinnati, 1886.←

Colton C. ed., *Private Correspondence of Henry Clay*, New York, 1855, reprint, 1971.←
Directory of the Town of Lexington for 1818.←

Dugan, F. L. S. and Bull J. P. eds., *Bluegrass Craftsman, Being the Reminiscences of* ←
Ebenezer Hiram Stedman Papermaker 1808-1885, Lexington, Ky., 1959.←

Gihon, J. L. pub., *The Life and Speeches of Henry Clay*, 2vols., Philadelphia.←

Greeley H. ed., *The Writings of Cassius M. Clay*, New York, 1848.←

Hopkins, J. F. ed., *The Papers of Henry Clay*, 10vols., Lexington, Ky.←

The Inverness Directory, published by P. Grant, Inverness, 1855←

The New Statistical Account of Scotland, Vol. XIV (Inverness – Ross and Cromarty),
Edinburgh and London, 1835.←

Sinclair, J., *The Statistical Account of Scotland 1791-1789*, reissue Vol. X VII ,
Edinburgh, 1981 (orig. Vol.IX, Edinburgh, 1791).←

1805 City Directory, Lexington.←

←

(新聞) ←

Inverness Courier←

New Orleans Bee←

The Reporter (Kentucky Reporter)←

←

(雑誌)←

Hunt Merchant Magazine←

Niles' Weekly Register (Niles' National Register)←

Whig Journal←

←

(パンフレット) ←

Fifty Reasons Why Honorable Henry Clay Should Be Elected President of the United States, Baltimore, 1844.←

Fifty Reasons Why Henry Clay Should Not Be President of the United States, Washington, pub. by order of a Committee of the Democratic members of Congress.←

←

←

(議会・諸機関関係) ←

Clay, H., “On the Colonization of the Negroes” in the Speeches of Henry Clay, Delivered in the Congress of the United States, Washington, 1827.←

The Department of Agriculture Report, 1st, Washington, 1861.←

Memorial of the Mechanics and Manufacturers Lexington, Kentucky to Congress, January 22, 1811, Washington, 1811.↵

Parliamentary Debates, London.↵

Report of the Debates and Proceeding of the Convention for the Revision of the Constitution of the State of Kentucky, 1849, Frankfort, 1849.↵

Robertson, J., *General View of the Agriculture in the County of Inverness ; with Observations on the Means of Its Improvement, London, 1808.*↵

U. S. Congress, *American State Papers, Finance, Vol. II , III, Washington, 1834.*↵

U. S. Congress, *Annals of Congress, Washington.*↵

↵

(センサス)↵

First Census of the United States, Philadelphia,1791.↵

Second Census of the United States, Washington, 1801.↵

Aggregate Amount of Persons within the United States in the Year 1810, Washington, 11.↵

Census for 1820, Fourth Census, Book I ,Washington, 1821. ↵

Abstract of Returns Fifth Census, Washington 1832.↵

Sixth Census 1840, Compendium of Enumeration, Washington, 1841↵

Seventh Census 1850, Statistical View Compendium, Washington, 1854.↵

Eighth Census of the United States, Vol.1, Agriculture, Vol.3, Population, Washington, 1864.↵

←

(同時代文献) ←

“American Tariff”, *Edinburgh Review*, Vol.48, 1828.←

British Opinions of the American Colonization Society, Boston, 1833.←

British Opinions on the Protecting System : Being a Reply to Strictures on that System, ←
Boston, 1830←

←

Douglas, K., Smith, J. and Fraser, D., *A History and Description of Inverness ; Its
Principal Buildings, Public Institutions, etc. with a Guide to the Various Objects of
Interest in its Neighbourhood ; also a Statistical Sketch of the County of Inverness*,
Inverness, 1847.←

Filson, J. *The Discovery and, Settlement of Kentucke*, Wilmington, 1784. ←

Tocqueville, A., *Democracy in America*, 井伊玄太郎訳『アメリカの民主政治』講談社文庫
1972年、講談社学術文庫、1987年。←

Warden, A. J., *The Linen Trade, Ancient and Modern*, London, 1864.←

←

II 二次文献 (欧文) ←

←

雑誌名略号一覧←

AH *Agricultural History*←

AHR *American Historical Review*←

FCHQ *Filson Club History Quarterly*←

JEH *Journal of Economic History*←

JSH *Journal of Southern History*←

LHQ *Louisiana Historical Quarterly*←

LH *Louisiana History*←

MVHR *Mississippi Valley Historical Review*←

RKHS *Register of the Kentucky Historical Society*←

←

←

- ⌂
- Abernethy, T. P., “The Origin of the Whig Party in Tennessee”, *MVHR*, Vol.12, No.4, 1926.⌂
— *Three Virginia Frontiers*, Gloucester, Mass., 1962.⌂
- Adams, W. H., *The Whig Party of Louisiana*, Lafayette, La., 1973.⌂
- Allen, J. B., “Did Southern Colonizationists Oppose Slavery ? Kentucky 1816-1850 as a Test Case”, *RKHS*, Vol.75, No2, 1977.⌂
- Bancroft, F., *Slave Trading in the Old South*, New York, 1931.⌂
- Barnhart, J. D., “Frontiersman and Planters in the Formation of Kentucky” *JSH*, Vol.7, No.1, 1941.⌂
- Baxter, M. G., *Henry Clay and the American System*, Lexington Ky., 1995.⌂
- Beyan, A. J., *The American Colonization Society and the Creation of the Liberian State*, Lanham, 1991.⌂
- Binkley Jr., R. W., “The American System : An Example of Nineteenth-Century Economic Thinking. Its Definition by Its Author Henry Clay”, Ph. D. Dissertation, Columbia University, 1949.⌂
- Brown, T., *Politics and Statesmanship, Essays on the American Whig Party*, N.Y., 1985.⌂
- Burns, F. P., “Henry Clay Visits New Orleans”, *LHQ*, Vol.27, No.3, 1944.⌂
- Byrd, P., “The Kentucky Frontier in 1792”, *FCHQ*, Vol.25, No.3, 1951.⌂

⌂

⌂

⌂

- Catterall, R. C. H., *The Second Bank of the United States*, 1902, rep. Chicago, 1960.↵
- Clark, T. D., “The Ante-bellum Hemp Trade of Kentucky with Cotton Belt”, *RKHS*, Vol.27, No.79, 1929.↵
- “Lion of White Hall” in *The Kentucky*, New York, 1942.↵
- *A History of Kentucky*, Lexington, Ky., 1954,↵
- Cole, A. C., *The Whig Party in the South*, 1913, rep. Gloucester, Mass., 1962,↵
- Coleman, Jr. J. W., *Slavery Times in Kentucky*, Washington, 1940.↵
- “The Kentucky Colonization Society”, *RKHS*, Vol.39, No.126, 1941,↵
- “Henry Clay, Kentucky and Liberia”, *RKHS*, Vol.45, No.153, 1947.↵
- “Lexington as Seen by Travelers 1810-1835”, *FCHQ*, Vol.29, No.3, 1955.↵
- Collins, L., *Historical Sketch of Kentucky*, Cincinnati, 1948.↵
- Cotterill, R. S., *History of Pioneer Kentucky*, Cincinnati, 1917.↵
- Dawson III, JG ed., *The Louisiana Governors*, Baton Rouge, 1990↵
- Downes, R. C., “Trade in Frontier Ohio”, *MVHR*, Vol.16, No.4, 1930.↵
- Dubin, M. J., *United States Congressional Elections, 1788-1997*, Jefferson, NC., 1998. ↵
- Dunbar, G. S., “Henry Clay on Kentucky Bluegrass”, *AH*, Vol.51, No.4↵
- Durie, A. J., “Balanced and Unbalanced Urban Economies : Aberdeen and Dundee 1800-1914”, *Scotia*, Vol.8, 1984.↵
- Eaton, C. ed., “Minutes and Resolutions of an Emancipation Meeting in Kentucky in 1849”, *JSH*, Vol.14, No.4, 1948.↵
- Fisher, D. R., *The History of Parliament, The House of Commons 1820-1832*, 7vols., Cambridge, 2009.↵
- Finnie, G. E., “The Antislavery Movement in the Upper South”, *JSH*, Vol.35, No.3, 1969.↵
- Fox, E. L., *The American Colonization Society 1817-1840*, Baltimore, 1919,↵

- Galloway, J. H., *The Sugar Cane Industry*, Cambridge, 1989,↵
- Gauldie, E. ed., *The Dundee Textile Industry 1790-1885*, Edinburgh, 1969.↵
- “The Dundee Jute Industry” in Butt, J. and Ponting, K. eds., *Scottish Textile History*, Aberdeen ,1987.↵
- Geerings, H. C. P., *The World’ s Cane Sugar Industry*, London, 1912. ↵
- Goodwin, E. P., “The Rise of Manufactures in the Miami County ”, *AHR*, Vol.12, No.4, 1907.↵
- Govan, T. P., *Nicholas Biddle: Nationalist and Public Banker 1786-1844*, Chicago, 1959.↵
- Gray, L. C., *History of Agriculture in the Southern United States to 1860*, 2vols., New York, 1941.↵
- Gray, M., *The Highland Economy 1750-1850*, Edinburgh, 1957.↵
- Gregory Jr., J. P., “The Question of Slavery in the Kentucky Constitutional Convention of 1849”, *FCHQ*, Vol.23, No.2, 1949.↵
- Gronert, T. G., “Trade in the Bluegrass Region 1810-1820”, *MVHR*, Vol.5, No.3, 1918. ↵
- Hamilton, H., *An Economic History of Scotland in the Eighteenth Century*, Oxford, 1963.↵
- Harrison, L. H., “The Anti- Slavery Career of Cassius M. Clay ” *RKHS*, Vol.59, No.4, 1961.↵
- The Antislavery Movement in Kentucky*, Lexington, Ky., 1978.↵
- Howard, V. B., “Cassius M. Clay and the Origins of the Republican Party”, *FCHQ*, Vol. 45, No.1, 1971.↵
- Henderson, A., “Richard Henderson and Occupation of Kentucky, 1775”, *MVHR*, Vol.1, No.3, 1914.↵
- “ The Creative Forces in Westward Expansion : Henderson and Boone”, *AHR*, Vol.20, Issue1,1914.↵
- Hilliard, S. B., *Atlas of Antebellum Southern Agriculture*, Baton Rouge, 1984.↵
- Holdworth, J. T. and Dewey, D. R., *The First and Second Banks of the United States*, Senate Document No.571, Washington, 1910,↵

- Hopkins, J. F., *A History of Hemp Industry in Kentucky*, Lexington, Ky., 1951.↵
- “Henry Clay Farmers and Stockman ”, *JSH*, Vol.15, No.1, 1949↵
- Howard, P. H., *Political Tendencies in Louisiana*, rev. Baton Rouge, 1971.↵
- Howard, V. B., “Cassius M. Clay and the Origins of the Republican Party”, *FCHQ*, Vol. 45, No.1, 1971.↵
- Howe, D. W., *The Political Culture of the American Whigs*, Chicago, 1979.↵
- Hunter, L. C., “The Invention of the Western Steamboat”, *JEH*, Vol.3, No.2, 1943.↵
- Jackson, G. and Kinnear, K., *The Trade and Shipping of Dundee 1780-1850*, Dundee, 1991.↵
- Jilson, W. D., *Kentucky Hemp*, Versailles, 1942↵
- Keith, J.E., “Joseph Rogers Underwood, Friend of African Colonization ”, *FCHQ*, Vol.22, No.2, 1948,↵
- Krueger, D. W., “The Clay-Tyler Feud, 1841-1842”, *FCHQ*, Vol.42, No.2, 1968.↵
- Leavy, W. A., “A Memoir of Lexington and Its Vicinity ”, *RKHS* (Vol. 40, No.131-133, 1942 , Vol.41, No.134-137, 1943, Vol.42, No.138, 1944).↵ ○○
- Lindstrom, D., “Southern Dependence upon Interregional Grain supplies, A Review of the Trade Flows 1840-1860”, *AH*, Vol.44, No.1, 1970.↵
- Lippincott, T., *History of Manufacturing in the Ohio Valley up to the Year 1860*, Chicago, 1914.↵
- Malone, A. P., *Sweet Chariot*, Chapel Hill, 1992.↵
- Marshall, L. L., “The Strange Stillbirth of the Whig Party”, *AHR*, No.72, 1967.↵
- Martin, A. E., *The Anti-Slavery Movement in Kentucky*, Louisville, 1918.↵
- Mathias, F. F., “Kentucky’s Third Constitution : A Restriction of Majority Rule”, *RKHS*, Vol.75, No.1, 1977.↵
- “Henry Clay and His Kentucky Power Base”, *RKHS*, Vol.78, No.2, 1980.↵
- Mayo, B., “Lexington, Frontier Metropolis” in Goldman E. F. ed., *Historiography and Urbanization*, Baltimore, 1941.↵

- ←
- Mcdougle, I. E., *Slavery in Kentucky 1792-1865*, Westport, 1918.←
- Mcwhiney, G., “Were the Whig a Class Party in Alabama?” *JSH*, Vol.23, No.4, 1957.←
- Miskell, L., Whatley, C. A. and Harris, B. eds., *Victorian Dundee : Images and Realities*, East Linton, 2000←
- Moore, B., *A Study of the Past, the Present, and the Possibilities of the Hemp Industry in Kentucky*, Lexington Ky., 1905.←
- Morley, M. R., “The Edge of Empire : Henry Clay’s American System and the Formulation of America Foreign Policy, 1830-1833”, Ph. D. Dissertation, Columbia University←
1949.←
- Mueller, H. R., *The Whig Party in Pennsylvania*, 1922, rep. New York, 1969.←
- North, D. C., *The Economic Growth of the United States, 1790-1860*, New York, 1961.←
- Ottesen, A. J., “A Reconstruction of the Activities and Outbuildings at Farmington an Early Nineteenth Century Hemp Farm ”, *FCHQ*, Vol.59, No.4, 1985←
- Peter, R., *History of Fayette County, Kentucky*, Chicago, 1882,←
- Peterson, M. D., *Thomas Jefferson and the New Nation*, New York, 1970.←
— *Olive Branch and Sword*, Baton Rouge, 1982.←
- Phillips, U.B., “The Southern Whigs, 1834-1854” in Turner, F. J. ed., *Essays in American History*, 1910, rep. N.Y., 1951.←
- Poage, G. R., *Henry Clay and the Whig Party*, 1936, reprint, Gloucester, Mass., 1965.←

- Ramage, J. A., *John Wesley Hunt*, Lexington Ky., 1974.↵
- Ranck, G. W., *History of Lexington, Kentucky*, Cincinnati, 1872.↵
- Remini, R. V., *Andrew Jackson and the Bank War; A Study in the Growth of Presidential Power*, New York, 1967.↵
- Rice, O. K., *Frontier Kentucky*, Lexington, Ky., 1975.↵
- Richardson, H. E., *Cassius Marcellus Clay: Firebrand of Freedom*, Lexington, Ky., 1987.↵
- Robertson, H., "The Emergence of the Whig Party in Louisiana's Florida Parishes, 1834-1840", *Louisiana History*, Vol.33, No.3, 1922. ↵
- Royalty, D. M., "Banking, Politics, and the Commonwealth, Kentucky, 1800-1825", Ph. D. Dissertation, University of Kentucky, 1972,↵
- Schlesinger, A. M., and Israel, F. I., eds., *The History of American Presidential Elections*, Vol. I , New York,1973.↵
- Schmitz, M., *Economic Analysis of Antebellum Sugar Plantation in Louisiana*, New York, 1977.↵
- Sellers Jr., C. G., "Who were the Southern Whigs?" *AHR*, Vol.59, Issue2, 1954.↵
- ↵
- Share, A. J., *Cities in the Commonwealth*, Lexington, Ky., 1984.↵
- Shugg, R. W., *Origins of Class Struggle in Louisiana*, Baton Rouge, 1939.↵
- Sitterson, J. C., *Sugar Country*, Lexington Ky., 1953.↵
- Smiley, D. L., *Lion of White Hall: The Life of Cassius M. Clay*, Madison, 1962.↵
- Smith, W. B., *Economic Aspects of the Second Bank of the United States*, Cambridge, Mass., 1953.↵
- Staples, C. R., *The History of Pioneer Lexington*, Lexington, Ky.,1939.↵
- Staundenraus, P. J., *The African Colonization Movement 1816-1865*, New York, 1961,↵
- Stephenson, W.H., *Alexander Porter*, Baton Rouge, 1934.↵

- Tapp, H., “Robert J. Breckinridge and the Year 1849”, *FCHQ*, Vol.12, No.3, 1938. ←
United States, Boston, 1949. ←
- Taylor, G. R., *The Transportation Revolution*, New York, 1957, pp.20-21. ←
- Taylor, J. G., *Negro Slavery in Louisiana*, New York, 1969, ←
- Townsend, W. H., *The Lion of White Hall*, Dunwoody, Ga., 1967. ←
- Tregle, Jr., J. G., “Louisiana and the Tariff, 1816-1846”, *LHQ*, Vol.25, No.1, 1942 ←
- Troutman, R. L., “Henry Clay and His Ashland Estate”, *FCHQ*, Vol.30, No.2, 1956. ←
- “Aspects of Agriculture in the Ante-Bellum Bluegrass”, *FCHQ*, Vol.45, No.2, 1971. ←
- Turner, W. B., “Abolitionism in Kentucky”, *RKHS*, Vol.69, No.4, 1971. ←
- VanDeburg, W. L., “Henry Clay, The Right of Petition and the Slavery in the Nation’s Capital”, *RKHS*, Vol.68, No.2, 1970, p.133. ←
- Van Deusen, G. G., “Some Aspects of Whig Thought and Theory in the Jackson Period”, *AHR*, Vol.63, Issue2, 1958. ←
- “The Whig Party” in Schlesinger, M. and Israel, F. I. eds., *History of U. S. Political Parties*, Vol. I, New York, 1973 ←
- Wade, R. C., *The Urban Frontier*, Cambridge, Mass., 1959. ←
- Wallerstein, I., “American Slavery and the Capitalist World-Economy” in *The Capitalist World Economy*, Cambridge, 1979 (「アメリカの奴隷制と資本主義世界」日南田静真監訳『資本主義世界経済Ⅱ——階級・エスニシティの不平等、国際政治——』名古屋大学出版会、1987年)。 ←
- Watlington, P., *The Partisan Spirit*, New York, 1972. ←

←

←

←

Weissbach, L. S., “The Peopling of Lexington, Kentucky : Growth and Mobility in a Frontier Town”, *RKHS*, Vol.81, No.2, 1983.↵

Whatley, C. A., Swinfen, D. B. and Smith A. M., *The Life and Times of Dundee*, Edinburgh, 1993↵

—*The Industrial Revolution in Scotland*, Cambridge, 1997,↵

Wilburn, J. A., *Biddle’s Bank: The Crucial Years*, New York, 1967.↵

Winston, J. E., “The Mississippi Whigs and the Tariff 1834-1844”, *MVHR*, Vol.22, No.4, 1936.↵

Young, B. H., *History and Texts of the Three Constitutional Convention*, Louisville, 1890.↵

↵

↵

↵

Ⅲ 二次文献(和文) ←

←

秋元英一「経済史」阿部斉・五十嵐武士編『アメリカ研究案内』東京大学出版会、1998年。←

五十嵐武士「アメリカ型『国家』の形成——その予備的な考察——」日本政治学会編『18世紀の革命と近代国家の形成』(年報政治学・1990)岩波書店、1991年。←

折原卓美『19世紀アメリカの法と経済』慶応義塾大学出版会、1999年。←

河合康夫「19世紀前半イギリスにおける機械輸出論争の一側面」『経済理論』[和歌山大学]、219号、1987年。←

——「穀物法廃止の歴史像をめぐって」『武蔵大学論集』第47巻第3・4号、2000年。←

楠井敏朗『アメリカ資本主義と産業革命』弘文堂、1970年。←

——『アメリカ資本主義と民主主義』多賀出版、1986年。←

——『アメリカ資本主義の発展構造・I——南北戦争前期のアメリカ経済——』日本経済評論社、1997年。←

——『『アメリカ体制』と『ジャクソニアン・デモクラシー』(3)、横浜国立大学『横浜経営研究』Ⅲ巻4号、1983年←

久保芳和『アメリカ経済学史研究—「アメリカ体制」派経済学の生成と発展』有斐閣、1961年。←

小林袈裟治「アメリカ合衆国における工業経営の発展に関する一考察 —シンシナティの場合—」、龍谷大学『経済論集』2巻1号、1962年。←

佐藤健一「アメリカン・システム」『金沢大学法文学部論集・哲学史学編』8号、1960年。←

清水忠重『アメリカの黒人奴隷制論』木鐸社、2001年。←



清水知久「アメリカ帝国についての覚書」『日本女子大学紀要・文学部』16号、1966年。←

——『アメリカ帝国』亜紀書房、1968年←

鈴木圭介編『アメリカ経済史Ⅰ』東京大学出版会、1972年。←

大道安次郎『『アメリカ体制』と『イギリス体制』』東北大学『経済学』30・31巻3・4号、1953年)。←

高橋章「アメリカ『帝国』の建設からパクス・アメリカーナへ」今津晃・池本幸三・高橋章
編『アメリカ史を学ぶ人のために』世界思想社、1987年。←

——「近代世界システムの発展と北アメリカ」高橋章・加茂雄三編『近代化の分かれ道』青
木書店、1993年。←

高橋和男『アメリカ国民経済学の系譜』立教大学出版会、2008年。←

田島恵児『ハミルトン体制研究序説——建国初期アメリカ合衆国の経済史』勁草書房、1984
年。←

鳥羽欽一郎『近代経済史—アメリカにおける産業資本の形成と発展—』日本評論新社、1958
年。←

富田虎男「アメリカ『帝国』の形成」清水知久・高橋章・富田虎男編『アメリカ史研究入門』
改訂・増補版、山川出版社、1988年。←

豊原治郎『アメリカ産業革命史序説』未来社、1962年。←

——「ピッツバーグの商品流通史的意義」、神戸商科大学『商大論集』24巻、1、2、3巻合
併号、1972年。←

長田豊臣『南北戦争と国家』東京大学出版会、1992年。←

永田啓恭『アメリカ鉄鋼業発達史序説』日本評論社、1979年。←

中村勝巳『アメリカ資本主義の成立』日本評論社、1966年。←

——『アメリカ資本主義論』未来社、1971年。←

本田創造『アメリカ南部奴隷制社会の経済構造』岩波書店、1964年。←

宮野啓二『アメリカ国民経済の形成—「アメリカ体制」研究序説—』御茶の水書房、1971
年。←

——「南部奴隷制社会と工業化」（高橋幸八郎・安藤良雄・近藤晃編『市民社会の経済構造』
有斐閣、1972年、←

——「書評—楠井敏朗『アメリカ資本主義と民主主義』—」『社会経済史学』53巻1号、
1987年。←

毛利健三『自由貿易帝国主義』東京大学出版会、1978年、72—74頁。←